

★ 低温・強風の影響で生育が抑えられたほ場も！  
★ 適切な茎数を確保し、中干しの適期実施を！

### 1 君津地域の生育概況

今年は、4月末から5月上旬の低温と強風の影響により、移植時期により生育にバラつきが見られました。4月中旬までに植えた苗については天候に恵まれ、順調に生育が進んでいる一方で、4月末から5月上旬に植えた苗については一時的な生育停滞があり、平年並みの生育となっています。

5月中旬からは再度気温も上昇していますので、4月中旬までに植えたほ場については、茎数が確保されたら、茎数過剰になる前に中干しを開始しましょう。4月末から5月上旬に植えたほ場については、浅水管理を行い、早期の生育や茎数確保に努めましょう。

### 2 生育調査ほの調査結果（5月21日）

品種	年	田植え日	葉令	草丈(cm)	茎数 (/株)	茎数 (/㎡)
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	30	4/13	7.7	32	14.7	235
	平年	4/16	7.2	25.9	12.7	191
	平年比	-3	+0.5	124%	116%	123%
ふさこがね (君津市)	30	4/16	6.5	26	14.2	236
	平年 (参考)	4/20	6.3	—	—	—
コシヒカリ (君津市)	30	4/22	6.2	37	13.5	224
	平年 (参考)	4/20	6.4	—	—	—
コシヒカリ (木更津市)	30	5/3	5.4	26	5.3	100
	昨年	4/29	5.2	29	6.3	118

※1 平年値は過去10か年（平成20年～29年）平均値。ただし、君津市のほ場は30年に調査ほ場を変更し、過去との生育比較が困難なため、平年値は参考となります。また、木更津市のほ場は26年から調査を始めたため、平年値はなしとなります。

-郵便で配信している方へお願い-

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。

電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 宇津木 i.utsg2@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299 (電話)

### 3 これからの管理のポイント

#### ① ほ場ごとに茎数を確認し、中干しの適期実施

茎数過多は玄米品質低下の原因となるので、表1の中干し開始時期の目安を確認し、目標茎数に達し次第、中干しを開始して過剰分げつの発生を抑えましょう。特に、「コシヒカリ」は倒伏を回避するため、中干しは適期に実施しましょう。

目標茎数に達していないほ場では、引き続き浅水管理で茎数確保を図る必要があります。一方、今後好天が続く場合、茎数が急激に増加するので、中干しが遅れないように注意しましょう。

中干しの強さは田面に軽い亀裂が入り、田面を歩いて長靴が沈まない位を目安とします。中干し開始数日後に溝切りを行うとさらに効果的です。

表1 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質土	壤質土	粘質土
ふさおとめ	4月20日	480本/㎡ (27本/株)	480本/㎡ (27本/株)	440本/㎡ (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/㎡ (20本/株)	360本/㎡ (20本/株)	360本/㎡ (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/㎡	310本/㎡	300本/㎡
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)

※ ( ) 内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

※極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがあります

#### ② ばか苗病の発生・対策について

「ばか苗病」が種子生産ほ場及びその周辺ほ場で発生すると種子として出荷できなくなります。千葉県内の種子生産ほ場の半分以上は君津地域に存在します。県産優良種子安定生産のためにも、「ばか苗病」を本田で確認した際には抜き取りへの御協力をお願いします。

#### ③ スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミリンゴガイは、九十九里沿岸部を中心に被害が発生しています。植付直後の水稻苗を食害します。思わぬ集中加害を受け収穫皆無となる場合もあり、植付後しばらくは油断禁物です。また、貝の特性を理解した水管理や初期の食害を避けるための防除薬剤を上手く利用することが重要ですが、加えて地域活動により全体の密度を減らす取組も必要となります。

君津地域でも昨年から発生が見られているため、今後の被害拡大を防ぐためにも注意が必要です。水稻の茎や水路の壁、畦畔等に右図のような赤からピンク色の卵（数百の卵が集まった卵塊）を産卵するため、目立つのが特徴です。

防除薬剤以外にも、取水口へのネットの設置（水路からの侵入防止）、卵塊の払い落とし（個体数の増加を防ぐ）や雑草の除去（産卵場所を無くす）等を行い、被害の拡大を防ぎましょう。



スクミリンゴガイの卵塊

※ 次号は「6月7日頃」発行予定